

第 11 回全国カキ・サミット岡山大会に参加

7月13、14日に岡山県漁連などが作る実行委員会主催の全国カキ・サミットが開催され、全国のマガキ生産関係者が集まり現在の課題や新知見について情報交換が行われました。

京都府では舞鶴湾と久美浜湾でマガキ養殖が盛んですが、生食用の出荷がないことや、むき身作業後に廃棄されるカキ殻処理などの課題があります。これらの課題解決に向けた情報を収集するため、当センター職員が参加しました。

会議では、消費者ニーズに合わせ、輸出も見据えた生産・流通体制の構築が重要であることやカキ殻を魚礁^{*}資材としての有効利用した漁場環境改善の取組に関する事例が紹介されました。今後は、事例紹介の内容を府内漁業者に提供し、カキ養殖産業のより一層の発展に向けて支援します。

※魚礁：魚類等の住み家や隠れ家になるような構築物



カキ・サミットの会場での意見交換